

尚志 0 { 0-1 } 2 立正大 大 浜 南

(福島) (島根)

<3回戦>  
3日 14:10 フクアリ 晴  
観衆 6,609 主審=上 村

<得点経過>  
前32【立】平田健①石  
後12【立】高田①石  
【尚】慶野①

学年 尚志 位置 立正大 大 浜 南 学年

0	③新明	G	K	妻鹿	③	0
0	③松葉			平田健	③	1
0	②渡辺康	D		饗庭	②	0
0	③山城	F		山中本	③	0
0	③慶野			村山	③	0
0	③稲村			平山	③	2
0	②佐藤凌	M		藤井	③	1
0	③白岩	F		宮森	③	1
3	③津田			石丸	③	0
1	②小野	F		中浜	③	0
1	③鈴木	W		中島	③	2

0	③佐藤蒼			高田	③	1
(後1慶野)				(後1石丸)		
2	③林	交		井上	②	0
(後1白岩)				(後1中浜)		
1	③中村	代		尾崎	③	2
(後33佐藤凌)				(後13宮森)		
				竹中	③	0
				(後38中島)		

計後前		前後計
8 5 3	シュート	2 8 10
7 5 2	G K	2 4 6
7 5 2	C K	0 1 1
6 2 4	直接 F K	4 4 8
2 1 1	間接 F K	1 0 1
0 0 0	P K	0 0 0



# メッシ高田が決めた 立正大 大 浜 南

## 1対67憧れのドリブル研究

メッシに憧れる「スーパーサブ」が試合を決定付けた。立正大 大 浜 南は、1-0の後半開始から投入されたMF高田が、12分に巧みな切り返しから右足で技ありシュート。1対67とアルゼンチン代表FWよりも2割低い身長ながら、再三ドリブルで尚志ゴールを脅かし、2大会ぶり8強進出の立役者になった。学校のグラウンドはピッチ一面も確保できな



<尚志・立正大 大 浜 南>後半12分、チーム2点目となるゴールを決め喜ぶ高田

い面積。密集地帯で技術を磨いてきた高田は「監督からはドリブルだけを考えろと言われていた。メッシのドリブルを研究してきたし、練習でやってきたことができた」と笑顔だった。

## エース林投入も目標一步届かず

<福島尚志>高い機動力を生かして序盤から攻め込んだものの、時間の経過とともに相手のパワーに圧倒されてしまった。1点ビハインドの後半から、左膝に負傷を抱えるエースFW林を投入。林は右からのクロスに飛び込んでボレーを放つなど、得点への執念を見せたものの一步及ばなかった。震災直後の11年度大会で達成した、ベスト4には届かなかった。手負いのエースは「仲間ここまで連れてきてもらったのに、結果を出せず悔しい」と目を真っ赤にして振り返った。